

M-AUDIO

ProFire Lightbridge

34入力/36出力FireWire ADATオプティカル・インターフェイス



日本語
クイックスタートガイド

Windows XPでのインストール方法

注意：インストールを開始する前に、ProFire Lightbridgeインターフェイスがコンピュータに接続されていないことを確認して下さい。以下の手順で指示があるまでProFire Lightbridgeインターフェイスをコンピュータへ接続しないで下さい。

1. M-Audioのウェブサイト<http://www.m-audio.jp>の「サポート > ドライバ/アップデート」のページから最新のProFire Lightbridgeドライバをダウンロード (b) することを推奨します。インターネットへ接続する環境がない場合には、製品に付属のFireWire Series CD-ROM (a) をコンピュータのCD-ROMドライブへ挿入してドライバをインストールして下さい。
 - a. FireWire Series CD-ROMからドライバをインストールする場合には、CD-ROMを挿入するとコンピュータは自動的にインタラクティブなインストールウィンドウ (1) を表示します。インストールウィンドウが自動的に起動しない場合には、スタート > マイコンピュータ > FireWire Series CD-ROMを選択します。次に製品名 (ProFire Lightbridge) を選択し「Install (インストール)」をクリックします。
 - b. <http://www.m-audio.jp>からダウンロードしたドライバをインストールする場合には、ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。
2. 画面の指示に従いドライバのインストールを続けます。
3. インストール中に「ドライバがログテストに合格していません」というメッセージが表示される場合がありますが「Continue Anyway (続ける)」をクリックしてインストールを進めます。
4. インストールが終了したら「Finish (完了)」をクリックします。
5. コンピュータを終了して電源を切ります。
6. 同梱されたFireWire (IEEE-1394a) ケーブルを使用してProFire LightbridgeをコンピュータのFireWire (IEEE-1394a) 端子に接続します。

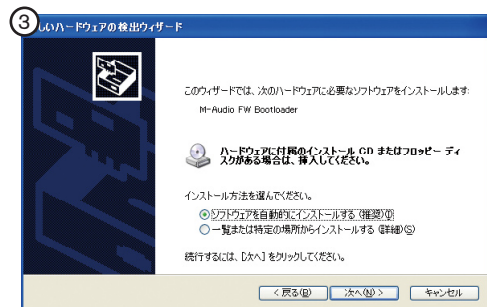
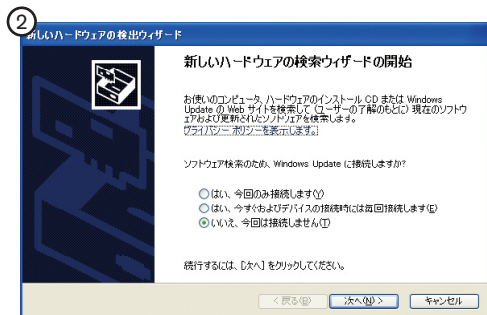


コンピュータに4ピンのFireWire (IEEE-1394a) 端子が装備されている場合には、同梱された電源アダプタをProFire Lightbridgeに接続して本体へ電源を供給する必要があります。

7. ProFire Lightbridgeの電源をオンにしてからコンピュータの電源をオンにします。
8. WindowsがProFire Lightbridgeを検知しインターネットでドライバを検索するかどうかを尋ねられますが「No, not this time (いいえ、今回は接続しません)」を選択し「Next (次へ)」をクリックします ②。
9. 「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます ③。
10. 「Install software automatically (ソフトウェアを自動的にインストールする)」を選択し「Next (次へ)」をクリックします。
11. ウィザードが終了したら「Finish (完了)」をクリックします。
12. インストールが終了したら「新しいハードウェアがインストールされ使用する準備ができました」というメッセージが表示されます。

コンピュータによっては、インストールの手順8から11を繰り返す必要がある場合がありますがこれは正常な動作です。

注意:ProFire Lightbridgeをコンピュータと脱着する場合には、必ずコンピュータの電源が切れている状態で行って下さい。コンピュータの電源が入っている状態でホットプラグを行うと、ProFire Lightbridgeやコンピュータに重大な損傷を与える危険性があります。本件に関する詳細についてはM-Audioのウェブサイト<http://www.m-audio.jp>のFAQのページを参照して下さい。



Mac OS Xでのインストール方法

1. M-Audioのウェブサイト<http://www.m-audio.jp>の「サポート > ドライバ/アップデート」のページから最新のProFire Lightbridgeドライバをダウンロード (a) することを推奨します。インターネットへ接続する環境がない場合には、製品に付属のFireWire Series CD-ROM (b) をコンピュータのCD-ROMドライブへ挿入してドライバをインストールして下さい。
 - a. FireWire Series CD-ROMからドライバをインストールする場合には、CD-ROMを挿入するとデスクトップにCD-ROMのアイコンが表示されます。このアイコンをダブルクリックしてCD-ROMの内容を表示します。次に「Open Me」をダブルクリックします。ウエルカムウインドウのドロップダウン・メニューから製品名 (ProFire Lightbridge) を選択し「Install (インストール)」をクリックします。
 - b. <http://www.m-audio.jp>からダウンロードしたドライバをインストールする場合には、ダウンロードしたファイルは自動的にマウントされデスクトップに内容が表示されます。ダウンロードしたファイルが自動的にマウントされない場合には、ダウンロードが完了した時点でファイルをダブルクリックして内容を表示します。次にインストーラをダブルクリックします。
2. 画面の指示に従いドライバのインストールを続けます。
3. インストールが終了したら、コンピュータの再起動を促すメッセージが表示されますのでコンピュータを終了します。
4. コンピュータの電源が切れたことを確認します。
5. 同梱された6ピンのFireWireケーブルを使用してProFire LightbridgeをコンピュータのFireWire端子へ接続します。
6. ProFire Lightbridgeの電源をオンにしてからコンピュータの電源をオンにします。

注意:ProFire Lightbridgeをコンピュータと脱着する場合には、必ずコンピュータの電源が切れている状態で行って下さい。コンピュータの電源が入っている状態でホットプラグを行うと、ProFire Lightbridgeやコンピュータに重大な損傷を与える危険性があります。本件に関する詳細についてはM-Audioのウェブサイト<http://www.m-audio.jp>のFAQのページを参照して下さい。

アナログ機器を接続する

ProFire Lightbridgeには、34チャンネルのデジタル入力に加え1/4ヘッドフォン出力とミキサーやパワード・モニターに接続するための1/4アナログ出力端子が装備されています。ヘッドフォンとライン出力端子は、常に同じ信号を出力するためProFire Lightbridgeの独立した総出力数は36チャンネルになります。

ProFire Lightbridgeのアナログ出力端子は、S/PDIF出力をミラーリングするかDAW上で独立した出力として使用することが可能ですので、正確な信号がアナログ出力へルーティングされるようにDAWで適切な変更を加える必要があります。変更方法については、DAWの取扱説明書を参照して下さい。

デジタル機器を接続する

このセクションでは、相互に接続したデジタル機器をシンク（同期）させることの重要性について解説します。デジタル機器をシンクさせる方法は幾つかあります。このセクションでは、デジタル・シンクのコンセプトについての理解を容易にするシナリオを幾つ取り上げます。詳細は、同梱のFireWire Series CD-ROMに収録されたProFire Lightbridgeユーザーガイドを参照して下さい。

ProFire Lightbridgeには、ADATオプティカル入力端子4系統とS/PDIF入力端子1系統が装備されそれらの全てを同時に使用することができます。しかしながら、複数の入力端子を使用するには全てのデジタル・オーディオ機器のタイミングのグリッチを回避するために相互にシンクする必要があります。このタイミングのグリッチは、クリック、ポップ、ホワイトノイズのバースト等を含む様々なオーディオの問題の原因になります。

デジタル接続する場合の最も重要なルールは、1つの機器が同期信号（ワードクロックと呼ばれます）を生成するよう設定し、その信号に他の全ての機器がロックする必要があります。同期信号を生成する機器は、一般的にワードクロックのマスターと呼ばれその他の機器はスレーブとなります。全てのスレーブ機器は、ワードクロックのマスターが生成するワードクロック信号を受信し、その信号を使用して全てのオーディオ・ストリームをシンクさせるよう設定する必要があります。

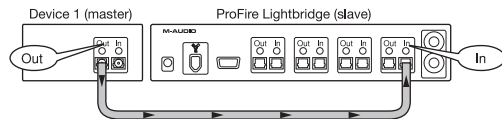


図1：デジタル機器2台、単一方向接続

この例では、Device 1がワードクロックのマスターを生成しオプティカル・ケーブルを経由してProFire Lightbridgeの1つ目のADATオプティカル入力端子へ送信します。これによりProFire Lightbridgeは、ワードクロックのマスターのスレーブになります。Device 1からのデジタル・オーディオ・ストリームとProFire Lightbridgeからのデジタル・オーディオ・ストリームはシンクした状態です。

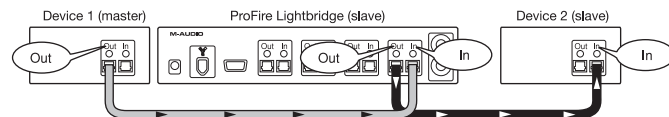


図2：デジタル機器3台、単一方向接続

この設定は、前例と同様の様ですが1つの違いがあります。ProFire Lightbridgeは、受信した同期信号をDevice 2のADAT出力端子へ送り、Device 2も入力信号に従いシンクするスレーブとして設定されます。これは、3つの機器全てが同じクロックで動作している状態です。スレーブ機器は、入力されたワードクロックに従いシンクする様に設定されていれば、更に追加でProFire LightbridgeインターフェイスのADATオプティカル出力端子3、4やS/PDIF出力端子に接続することができ全ての相互接続された機器はシンクしている状態です。

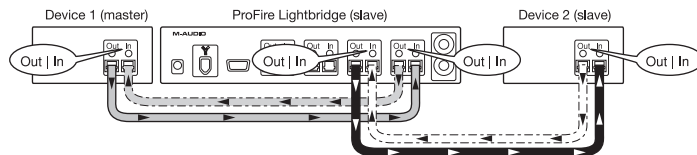


図3：デジタル機器3台以上、双方向接続

M-AUDIO

前例では、デジタル信号はワードクロック・マスターとして設定された機器から一方向のみに送信されました。実際の使い方では、随時にどの機器からでもデジタル信号を受受信する必要があります場合もありますがこれも問題なく実行できます。マスター/スレーブの設定を例3の表示と全く同様のまま、任意の機器のデジタル出力をその任意の機器が受信した信号を送信した機器の入力端子へ接続してシグナルを戻すだけです（図3の点線参照）。

例2と例3の違いは、デジタル信号が例3ではワードクロックのマスターヘループ・バックされた点のみです。ワードクロックのシンクに関して、これには追加の設定は必要ありません。例2の設定段階において全てのデジタル・オーディオ・ストリーム（全てのループ・バック接続を含む）は既にシンクしていることが確認できています。

注意：デジタル・オーディオ機器は、一般的に相互接続（例：機器Aの出力が機器Bの入力に接続され、機器Bの出力は機器Aの入力に接続した状態）され、シンク/オーディオ/その他のデータが両方の機器間で共有できます。デジタル機器間でこのようなループを作成するのに問題はありますが、その結果「大きな音のディストーションのフィードバック・ループ」が何らかの事情で発生する可能性があります。機器を相互接続する場合は、シグナル・パスを注意深く計画し、オーディオ・シグナルが2つ（またはそれ以上の）機器間で往復するような事態を避けることによりフィードバック・ループを回避するよう注意して下さい。

コントロールパネル・ソフトウェアにアクセスする

コントロールパネル・ソフトウェアでは、ProFireLightbridgeの様々なパラメータや機能を設定することができます。

Windows XP環境では、コンピュータのシステムトレイ（図④）にあるM-Audioのアイコンをダブルクリックしてアクセスします。



ここをクリックしてコントロールパネル・ソフトウェアを起動します。

Mac OS X環境では、システム環境設定パネル (図⑤) にあるM-Audioのアイコンをクリックしてアクセスします。

コントロールパネル・ソフトウェアのHardware (ハードウェア) のページを使用して、前項の説明に従いProFire Lightbridgeを内部クロックまたはデジタル入力のいずれかにシンクさせることができます。

コントロールパネル・ソフトウェアのパラメータについての詳細は、同梱のFireWire Series CD-ROMに収録のProFire Lightbridgeユーザーガイドを参照して下さい。



ここをクリックしてコントロールパネル・ソフトウェアを起動します。

その他の情報とサポート

M-Audioのウェブサイト (<http://www.m-audio.jp>) には、最新のドライバ情報、プログラム・アップデートや、ニュース・ストーリー、FAQ、テクニカルサポート情報が含まれます。ウェブサイトを定期的にチェックして最新のドライバやM-Audioの最新の製品情報をご確認下さい。

保証規定/ユーザー登録

エムオーディオでは安全上のご注意に基づいて適切に使用されている場合に限り、本製品をお買い上げいただいた日より一年間は保証期間となり修理は無償で行います。しかしながら、不適切な使用方法による破損の場合、ご購入者が所有していない場合、エムオーディオでのユーザー登録がお済みでない場合などは保証の対象となりません。但し、電源アダプタやケーブルなどの付属品は、適切な使用の結果不具合が生じた場合でも保証対象には含まれません (初期不良の場合は除く)。お使いの製品に対応する保証規定はwww.m-audio.com/warrantyでご覧下さい。

エムオーディオへ製品を送付する場合には、事前にエムオーディオのRA(Return Authorization)番号を取得する必要があります。製品のRA番号を取得するには、エムオーディオへご連絡頂ければ、エムオーディオのカスタマーサービスが症状などをお伺いしエムオーディオへ製品の送付が必要と判断した場合にRA番号を発行させていただきます。製品のRA番号を取得後、具体的な症状や送付理由を書面に記述し、製品を保護する安全な梱包を施した上、外装パッケージにRA番号を明記しM-Audioまで送付下さい。製品の修理には発送時の送料、返却時の送料と発生し得る手数料はご購入者の負担となります (初期不良の場合は除く)。

ユーザー登録: エムオーディオへお問い合わせ頂く場合には、エムオーディオでのユーザー登録を完了しなければ製品保証や技術的なサポートを受けることができません。ユーザー登録を行うには、次の2つの方法があります
方法でユーザー登録を行って下さい。1.) コンピュータで (一般的なWebブラウザ) エムオーディオWeb
できる方: エムオーディオ オンラインユーザー登録ページ <http://www.m-audio.jp/register/> にて、必要
信して下さい。2.) 携帯電話でエムオーディオWebサイトへアクセスできる方: エムオーディオ モバイル
ユーザー登録ページ <http://web.m-audio.jp/mobile/> にて、必要事項を入力して送信して下さい。



警告: この製品には、米国カリフォルニア州において癌、先天性異常、生殖異常の原因とそいで知られる鉛を含む化学物質が含まれます。ご使用後は手を洗って下さい。

© 2006 Avid Technology, Inc. 無断転載禁ず。商品内容、商品仕様書、動作環境、在庫等は予告なく変更になることがあります。価格は予告なく変更になることがあります。Avid、M-Audio、ProFire Lightbridgeはアメリカ合衆国とその他の国々でAvid Technology, Inc.の商標または登録商標です。ここに記載されているその他全ての商標または登録商標はそれぞれの所有者に属します。

M-Audio USA

5795 Martin Rd., Irwindale, CA 91706

<u>Technical Support</u>	<u>Sales</u>
web: www.m-audio.com/tech	e-mail: sales@m-audio.com
tel (pro products): (626) 633-9055	tel: 1-866-657-6434
tel (consumer products): (626) 633-9066	fax: (626) 633-9070
fax (shipping): (626) 633-9032	<u>Web</u> www.m-audio.com

M-Audio U.K.

Floor 6, Gresham House, 53 Clarendon Road, Watford, WD17 1LA, United Kingdom

<u>Technical Support</u>	<u>Sales</u>
e-mail: support@maudio.co.uk	tel: +44 (0)1923 204010
tel:(Mac support): +44 (0)1765 650072	fax: +44 (0)1923 204039
tel: (PC support): +44 (0)1309 671301	<u>Web</u> www.maudio.co.uk

M-Audio France

Floor 6, Gresham House, 53 Clarendon Road, Watford, WD17 1LA, United Kingdom

<u>Renseignements Commerciaux</u>	<u>Assistance Technique</u>
tel : 0 810 001 105	e-mail : support@m-audio.fr
e-mail : info@m-audio.fr	mac@m-audio.fr
<u>Assistance Technique</u>	fax : +33 (0)1 72 72 90 52
PC : 0 820 000 731	<u>Site Web</u> www.m-audio.fr
MAC : 0 820 391 191	

M-Audio Germany

Kuhallmand 34, D-74613 Ohringen, Germany

<u>Technical Support</u>	<u>Sales</u>
e-mail: support@m-audio.de	e-mail: info@m-audio.de
tel: +49 (0)7941 - 9870030	tel: +49 (0)7941 98 7000
fax: +49 (0)7941 98 70070	fax: +49 (0)7941 98 70070
	<u>Web</u> www.m-audio.de

M-Audio Canada

1400 St-Jean Baptiste Ave. #150, Quebec City, Quebec G2E 5B7, Canada

<u>Technical Support</u>	<u>Sales</u>
e-mail: techcanada@m-audio.com	e-mail: infocanada@m-audio.com
phone: (418) 872-0444	phone: (866) 872-0444
fax: (418) 872-0034	fax: (418) 872-0034
	<u>Web</u> www.m-audio.ca

M-Audio Japan

アビッドテクノロジー株式会社エムオーディオ事業部:〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内2-18-10
Avid Technology K.K. : 2-18-10 Marunouchi, Naka-Ku, Nagoya, Japan 460-0002

<u>カスタマーサポート (Technical Support)</u>	<u>セールスに関するお問い合わせ (Sales)</u>
e-mail : win-support@m-audio.jp	e-mail: info@m-audio.jp
e-mail (Macintosh 環境専用) : mac-support@m-audio.jp	tel: 052-218-3375
tel : 052-218-0859 (10:00~12:00/13:00~17:00)	fax: 052-218-0875
	<u>Web</u> www.m-audio.jp